

## エレベーターの製造台数等について

2011年2月9日  
 (社)日本エレベーター協会

(社)日本エレベーター協会においては、製造された昇降機が建築物等(駅舎、歩道橋等を含む。)に設置され、保守されている台数のうち、同協会会員が設置した台数及び自社で保守している累積台数について、毎年度調査を実施している。

一般に、製造台数と設置台数は月毎では変動があるものの、年度毎で見ると概ね一致する。下の表1では10年単位で見ていることから製造台数を設置台数とみなし、その設置台数と自社保守台数から現存台数を推定することができると思われる。

現存台数を推定する際には、①設置台数から減少する要因として、取り壊された建築物数や撤去されたエレベーターの台数を考慮するとともに、②自社保守台数から増加する要因として、自社(製造会社)以外の他社保守台数及び無保守台数があることを考慮しなければならない。さらに、③保守台数については、自社、他社及び無保守間での契約変更による台数の増減も考慮する必要がある。

今回、上記のような考え方にに基づき、既設エレベーターの現存台数を60~70万台程度あるものと推定しているが、今後さらに精査する予定としている。

## 1. 機種別の設置台数及び現存台数

ロープ式エレベーターと油圧式エレベーターの設置台数について、設置後の経過年数を10年毎でまとめた場合の推移は、下の表1に示すとおりである。また、現存台数は、上記②でも述べたように2009年の自社保守累積台数等を勘案すると、60~70万台程度あるものと推定される。

表1. 機種別の設置台数推移(単位:万台) (社)日本エレベーター協会調べ

設置後経過年数	31~40年	21~30年	11~20年	10年未満	合計
ロープ式	9.7	13.7	19.3	22.2	64.9
機械室あり	9.7	13.7	18.4	3.4	45.2
(内数)乗用 <sup>注1</sup>	集計未	12.6	16.2	3.0	31.8
機械室なし	—	—	注2 0.9	18.8	19.7
(内数)乗用 <sup>注1</sup>	—	—	注2 0.9	18.3	19.2
油圧式	0.5	3.4	8.2	0.9	13.0
(内数)乗用 <sup>注1</sup>	集計中	集計中	集計中	集計中	集計中
合計	10.2	17.1	27.5	23.1	77.9
自社保守累積台数 (2009年調査値)	内訳調査中	内訳調査中	内訳調査中	内訳調査中	56.7
現存台数推定値	調査後推定	調査後推定	調査後推定	調査後推定	60~70

注1: この表における乗用とは、乗用及び寝台用の合計。機械式ありの古いもの(特注・直流・高速)には、荷物用、自動車用を若干含む。

注2: 機械室なしの11~20年の値(0.9万台)は推定値。

## 2. 乗用エレベーターの設置台数推移

次頁の図1は、ロープ式の乗用エレベーターについて、①機械室の有無、②定格速度等によって分類した設置台数推移を示したものである。

表1及び図1からわかるように、設置後の経過年数が10年未満では「機械室なし」が主流であり、総設置台数（21.3万台）のうち86%（18.3万台）が該当する。10年以上経過したものは「機械室あり」が主流であり、1980年から2000年までに設置された「機械室あり」の総設置台数（28.7万台）のうち主流の標準・中低速及び特注・低速は97%（27.7万台）を占める。

なお、油圧式の乗用エレベーターについても、過去40年分の資料を集計中である。

以上

